

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートアイアイ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～	2025年 5月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	15（兄弟児1名含む）
○従業者評価実施期間	2025年 5月 16日		～	2025年 5月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育プログラムの充実	お子様や保護者様のニーズに沿った多様なプログラムを開発企画し、魅力のある内容を提供できるよう工夫をしている。パランスのよい発達が進められるよう、日々の療育の中でも、集団活動や個別活動の時間を充実させる取り組みを行っている。また当日の活動内容をお子様自身が把握できるよう事前の説明を取り入れている。	季節を感じにくい沖縄の地においても、季節感を感じられるような取り組みを増やし、豊かな感性を育むように毎月の活動内容を工夫している。職員は、研修や勉強会など様々な場で、多様なプログラムを実施出来るよう自らの学びを深めている。
2	コミュニケーション力、人間関係力の促進	さまざまな外出活動を通じて、良い刺激となる体験を積むことができる。（川遊び、磯遊び、砂浜遊び、果物狩り、買い物学習、地域イベント参加）等のお子様の『やりたい』を大切にしながら、やりたいことを体験していく中で仲間同士のつながりや人間関係が深まっていくようをサポートしている。	公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。地域のボランティア活動を取り入れ、地域貢献が出来る体験を増やしていく。
3	風通しが良い職場の雰囲気作り	毎日のミーティング、毎月の施設会議、研修会、日々の会話の中で、職員の困り事の確認を行い、働きやすさを追及している。また、お互いの強みを活かせるよう役割分担を行いながら、支援や日々の業務にあたっている。	同僚性を大切にし、職員の強みを生かした支援ができるよう連携を図っていく。事業所内だけでなく、他事業所や地域の方たちと関わることが出来る活動を立案・実施していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の関わり	保護者様同士が顔を合わせる機会が少ないこと。 保護者様やご兄弟が参加できるイベントが少ない。	保護者交流会、保護者参観を開催し、保護者様同士の関わりや相談の場を提供していく。 定期的に親子（兄弟含む）参加型のイベントを企画していくようにする。
2	地域の場の活用や地域住民（子ども）との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供出来ないこと。	平日においても、可能な限り（下校時間が早い時等）関わるの場を設定していきたい。
3	外活動スペースの狭さ	事業所の外回りは、体を思いっきり動かしてスポーツやボール運動等をする活動においては、狭いスペースとなっている。 近くのグラウンドや体育館、ドームなどを利用しているが、借用在が難しい日や、天気によっては利用できなくなってしまう。	職員配置や利用人数、生活レベルに応じて、グループに分けて支援を行っていく。また、静と動の動き等、活動内容によっても細かく使い分けていく。